「medicina」 第29巻 総目次

1992年 第1号～第13号

数字は通巻頁数，( )は号数，11号は増刊号につき不掲載．

〔今月の主題〕
循環器薬の使い方 '92

〈editorial〉循環器薬を有効に使う
山口 徹 6(1)

〈心不全〉
心不全治療の基本 篠山 重威 8(1)
急性心不全に対する治療薬の選択
前沢 宏忠・他 14(1)
慢性心不全に対する治療薬の選択
上林 政司・他 18(1)
ジギタリスの使い方
田村 勤 20(1)
カテコラミンおよび類似薬の使い方
小泉 克己 22(1)
血管拡張療法 横田 慶之・他 25(1)
β ブロッカー療法
堀 正二・他 28(1)
心不全治療薬の長期投与と予後
諸岡 成徳 30(1)

〈狭心症〉
狭心症治療の基本
古野 貴志・他 32(1)
不安定狭心症に対する治療薬の選択
光藤 和明 38(1)
安定狭心症に対する治療薬の選択
岸田 浩 40(1)
硝酸薬の使い方
浜田 正行・他 42(1)
カルシウム拮抗薬の使い方
藤井 崇史・他 44(1)
β ブロッカーの使い方
栗田 明・他 46(1)
抗血小板薬，抗凝固薬の使い方
本宮 武司 50(1)
薬物治療の限界と血行再建術
児玉 和久・他 53(1)
狭心症治療薬の長期投与と予後
南野 隆三・他 56(1)

〈急性心筋梗塞〉
急性心筋梗塞治療の基本
延吉 正清・他 60(1)
急性心筋梗塞に対する治療薬の選択
上松瀬勝男 64(1)
ウロキナーゼ，t-PA の使い方
石川 欽司・他 66(1)
抗血小板薬，抗凝固薬の使い方
冷牟田浩司・他 69(1)
強心薬，カテコラミンの使い方
鈴木 紳 72(1)
β ブロッカーの使い方
高橋 早苗 74(1)
再梗塞防止治療薬の長期投与と予後
出川 敏行 76(1)

〈不整脈〉
不整脈治療の基本
松尾 博司・他 82(1)
上室性頻拍に対する治療薬の選択
栗田 隆志・他 88(1)
心室性頻拍に対する治療薬の選択
遠藤 岳・他 92(1)
徐脈性不整脈に対する治療薬の選択
飯沼 宏之 96(1)
クラスⅠ抗不整脈薬の使い方
小松 親義 100(1)
β ブロッカーの使い方
小竹 寛・他 106(1)
カルシウム拮抗薬の使い方
谷川 直・他 110(1)
抗不整脈薬による不整脈
山口 巌 112(1)
不整脈治療薬の長期投与と予後
田辺 晃久 114(1)

〈高血圧〉
高血圧治療の基本 石井 當男 116(1)
高血圧に対する治療薬の選択
上野 雄二・他 112(1)
合併症を伴った高血圧の治療
関 顕 124(1)
利尿薬の使い方
島本 和明・他 126(1)
β ブロッカーの使い方
三浦 幸雄 130(1)
カルシウム拮抗薬の使い方
築山久一郎・他 134(1)
ACE 阻害薬の使い方
柊山幸志郎 136(1)
高血圧治療薬の長期投与と予後
斉藤 郁夫 138(1)

〈高脂血症〉
高脂血症治療の基本
高橋 和男・他 142(1)
高コレステロール血症に対する治療薬の選択 寺本 民生 148(1)
高トリグリセライド血症に対する治療薬の選択 丸山 博・他 152(1)
高脂血症治療薬の長期投与と予後
神崎 恒一・他 154(1)

〈心筋症〉
肥大型心筋症治療薬の使い方
安田 聡・他 158(1)
拡張型心筋症治療薬の使い方
弘田 雄三 160(1)

〈その他の心血管疾患と治療薬の使い方〉
低血圧症 加藤 敏平 162(1)
感染性心内膜炎 小出 直 166(1)
肺塞栓症 白土 邦男 166(1)
大動脈瘤 増田 善昭 172(1)
大動脈炎症候群 垣花 昌明 174(1)
閉塞性動脈硬化症
川崎 建市・他 176(1)

胆道系疾患 1992

〈Editorial〉胆石症治療の昨日・今日・明日 菅田 文夫 202(2)

〈胆道系疾患診断の基本と最近の進歩〉
胆道系疾患のベッドサイド診断と検査の進め方—An Overview
伊藤 慎芳 204(2)
胆道系疾患の画像診断の基本
水野 富一 208(2)
腹部エコーによる胆道系疾患の診断—最近の進歩
福田 守道・他 213(2)
腹部 CT による胆道系疾患の診断—最近の進歩 松枝 清・他 220(2)
ERCP による胆道系疾患の診断—最近の進歩 河原 弘規 224(2)
肝機能検査による胆道系疾患の鑑別診断 柴田 実 228(2)
RI 胆道スキャンの適応と有用性
鈴木 豊 230(2)
腫瘍マーカーとその正しい使い方
元雄 良治・他 236(2)
腹痛の鑑別からみた胆道系疾患の診断
門田 俊夫 238(2)
黄疸の鑑別診断からみた胆道系疾患の診断 板倉 勝 240(2)

〈胆道系疾患治療法の基本と最近の進歩〉
胆道系疾患の治療方針—An Overview
石原扶美武 242(2)
外科的手術とその適応に関する再評価
雨宮 厚・他 247(2)
胆汁酸製剤による胆石溶解療法と肝内胆汁うっ滞の治療
田中 直見・他 251(2)
胆道系疾患の内視鏡的治療—経皮的アプローチ 山川 達郎・他 254(2)
胆道系疾患の内視鏡的治療—経乳頭的アプローチ
早雲 孝信・他 257(2)
体外衝撃波による胆石症の治療の適応と限界 平田 信人・他 260(2)
腹腔鏡下胆嚢摘出術—米国における現状 北浜 昭夫 264(2)
腹腔鏡下胆嚢摘出術—わが国の現状と将来 大上 正裕・他 266(2)
胆道系疾患における抗生剤の正しい使い方 小林 芳夫 270(2)

〈病態に応じた胆道系疾患の診断と治療〉

© IGAKU-SHOIN Ltd, 2013

2026/10/15 05:22:19

胆道系悪性腫瘍の早期診断
窪川　良広・他　272(2)
胆嚢小隆起性病変(径 20 mm 以下)の鑑別と手術適応
土屋　幸浩　276(2)
無症候性胆石症の自然史とそのマネージメント　梶山　梧朗　278(2)
急性胆嚢炎・胆管炎の内科的治療の限界とドレナージ手技，開腹手術のタイミング
島田昇二郎・他　280(2)
胆石膵炎の診断と治療
杉山　恵一・他　282(2)
肝内結石症の診断と治療
佐々木睦男・他　285(2)
胆道系悪性腫瘍の非開腹的治療の適応と実際　折居　和雄　288(2)
膵・胆管合流異常の診断と治療適応
露口　利夫・他　290(2)
胆道機能異常の概念，診断と治療
上野　文昭　294(2)
糖尿病合併胆石症のマネージメント
永田　博司　296(2)
肝硬変合併胆石症のマネージメント
荒川　正一　298(2)
妊娠時胆石症のマネージメント
六倉　俊哉　300(2)
胆嚢摘出術後のマネージメント
谷村　弘・他　302(2)
〈座談会〉
胆石症治療の多角的アプローチ
石原扶美武・門田　俊夫
山川　達郎・上野　文昭　306(2)
〈今月の主題・理解のための 10 題〉
上野　文昭　318(2)

高脂血症の日常診療
〈Editorial〉高脂血症治療の最近の話題　田中　誠・他　376(3)
動脈硬化の予防と改善のための高脂血症の治療　松沢　佑次・他　380(3)
〈高脂血症の臨床診断〉
臨床症状について―見逃してはならない所見　馬渕　宏　385(3)
高脂血症の診断法―採血条件から評価まで　白井　厚治　390(3)
血中のリポ蛋白とその成分の測定法と計算法　山村　卓　394(3)
リポ蛋白値をどう読むか
佐々木　淳　398(3)
アポ蛋白の値をどう読むか
板倉　弘重　401(3)
二次性高脂血症をどうするか
篠宮　正樹　404(3)
酵素，受容体からの診断
川上　正舒　406(3)
遺伝子診断法　後藤田貴也・他　410(3)
〈高脂血症の治療〉
治療の原則　中村　治雄　414(3)
食事療法の方法と効果
山本　実　418(3)
運動療法の方法と効果
近藤　和雄　422(3)
高脂血症治療薬の作用点
中谷　矩章　426(3)
高脂血症治療薬の使い分けと併用
藤岡　考之・他　430(3)
高脂血症治療薬を変える時，止める時，追加する時　石川　俊次　434(3)
高脂血症治療目標値の考え方
木下　誠・他　438(3)
小児の高脂血症の治療
村田　光範　442(3)
老年者の高脂血症の治療
大荷　満生　446(3)
糖尿病に合併した高脂血症の治療
西　晴子・他　450(3)
皮膚科領域の高脂血症(黄色腫)の治療
藤田　優　454(3)
ネフローゼ症候群の高脂血症治療
山田　陽一・他　458(3)
脂肪肝を伴う高脂血症―インスリン抵抗性を中心に
小薗　康範・他　461(3)
LDL 吸着療法の効果
岸野文一郎　464(3)
〈今月の主題・理解のための 10 題〉
齋藤　康　467(3)

Common Diseases―リアルタイムの診断・治療手順
〈editorial〉尾形　悦郎　538(4)
〈循環器疾患〉
不整脈　杉　薫　540(4)
狭心症　相澤　忠範　544(4)
急性心筋梗塞　光藤　和明　549(4)
心不全　片桐　有一・他　554(4)
大動脈瘤　白鳥　健一　558(4)
高血圧　栃久保　修・他　562(4)
低血圧　村松　準・他　568(4)
心臓神経症　垣花　昌明　572(4)
〈呼吸器疾患〉
いわゆる「かぜ症候群」
田中　雅子・他　574(4)
気管支炎　櫻井　滋　578(4)
肺　炎　宮城征四郎　582(4)
気管支喘息　江頭　洋祐　586(4)
肺結核　長坂　行雄　590(4)
呼吸不全　寺沢　秀一　592(4)
肺塞栓症　中島　明雄・他　596(4)
〈消化器疾患〉
逆流性食道炎　椎名　泰文・他　598(4)
胃炎とその類縁疾患
丸山　正隆　600(4)
胃・十二指腸潰瘍　白浜　龍興　606(4)
急性胃腸炎　小俣富美雄・他　610(4)
過敏性腸症候群　小山　茂樹　612(4)
腸閉塞　仲村　洋・他　616(4)
虫垂炎　門田　俊夫　618(4)
急性肝炎　金山　正明　620(4)
慢性肝炎，肝硬変　柴田　実　624(4)
胆石症，胆嚢炎　伊藤　慎芳　628(4)
膵　炎　杉山　恵一・他　631(4)
〈神経疾患〉
脳出血，脳梗塞　星野　晴彦　634(4)
くも膜下出血　岩田　隆信　638(4)
慢性硬膜下血腫　忍田　欽哉　641(4)
脳　炎　山本　徹　646(4)
髄膜炎　矢沢　正信　648(4)
頭　痛　川村　潤　652(4)
失　神　吉井　文均・他　656(4)
めまい　山崎　正博　660(4)
〈血液疾患〉
貧　血　大屋敷純子・他　664(4)
出血傾向　半田　誠　668(4)
〈内分泌・代謝疾患〉
甲状腺機能亢進症(とくにバセドウ病)
百渓　尚子　673(4)
甲状腺機能低下症　玉井　一　677(4)
糖尿病　松岡　健平　680(4)
高脂血症　平賀　敬己・他　684(4)
痛風，偽痛風　鎌谷　直之　688(4)
〈腎・尿路疾患〉
急性腎炎　鈴木　洋通　690(4)
慢性腎炎　須藤　博　694(4)
急性腎不全　齋藤　博　698(4)
ネフローゼ症候群
須賀　孝夫・他　702(4)
尿路感染症　岡田　敬司　706(4)
尿路結石　小出　卓生　708(4)
〈その他の疾患〉
不明熱　味澤　篤　710(4)
敗血症　渡辺健太郎　712(4)
慢性関節リウマチ　高野　慎　714(4)
性感染症　根岸　昌功　718(4)

よくわかる水・電解質と酸塩基平衡
〈Editorial〉「水・電解質」の修業
石田　尚志　742(5)
〈水・電解質はどのように調節されているか〉
Na の調節　丸茂　文昭・他　744(5)
K の調節　越川　昭三・他　747(5)
Ca，P の調節　永田　直一　750(5)
水の調節　坪井　靖・他　754(5)
内分泌因子と水・電解質調節
猿田　享男　758(5)
〈水・電解質異常の診断から治療まで〉
水・電解質異常にみられる症候は何か
飯田　喜俊　762(5)
浮腫の病態と診断
清水　倉一・他　766(5)
脱水の診断と治療　篠田　晤　771(5)
多尿と乏尿―その成因と鑑別
磯田　和雄・他　775(5)
水・電解質異常の診断に必要な検査とその注意点
鈴木　誠・他　779(5)
尿中電解質の測定と臨床的意義
小椋　陽介　782(5)

2026/10/15 05:22:19

高 Na 血症と低 Na 血症
米村　克彦・他　786(5)
高 K 血症と低 K 血症
高橋　　進・他　789(5)
高 Ca 血圧と低 Ca 血症
奥野　仙二・他　794(5)
消化管疾患と水・電解質異常
波多野道康・他　800(5)
肝硬変と水・電解質異常
北岡　建樹　804(5)
悪性腫瘍と SIADH
武藤　重明・他　808(5)
悪性腫瘍にみられる高 Ca 血症
池田　恭治・他　812(5)
悪性腫瘍にみられる低 P 血症
杉山　　誠・他　816(5)
薬剤に関連した水・電解質異常
川口　良人　820(5)
高齢者にみられる水・電解質異常
富田　公夫・他　823(5)
高齢者における輸液療法
前波　輝彦・他　827(5)
〈酸塩基平衡を理解する〉
酸塩基平衡に関する用語の解説
和田　孝雄　830(5)
腎による調節 福原　吉典・他　834(5)
肺による調節　　太田　保世　840(5)
測定法とデータの読み方
横山啓太郎・他　844(5)
〈酸塩基平衡異常の診断と治療〉
ベッドサイドにおける酸塩基平衡異常診断へのアプローチ
高見　和孝・他　849(5)
代謝性アシドーシス
穴井　元暢・他　852(5)
代謝性アルカローシス
羽田　俊彦・他　856(5)
呼吸性アシドーシスとアルカローシス
大塚　洋久　860(5)
尿細管性アシドーシスの分類と鑑別
佐々木　成　864(5)
乳酸アシドーシス
杉野　信博・他　868(5)
〈トピックス〉
副甲状腺ホルモン関連ペプチド(PTHrP)　井上　大輔・他　872(5)
ANP と BNP 横田　直人・他　876(5)
内因性ジギタリス様物質
山田　　薫・他　882(5)
血管作動性物質と腎
鈴木　洋通　886(5)
低 Na 血症補正と central pontine myelinolysis　寺野　　隆・他　889(5)
微量元素に関する最近の知見
塚本　雄介　893(5)
〈座談会〉
水・電解質と酸塩基平衡異常—診断のポイントと問題点
小椋　陽介・浅野　　泰
藤田　敏郎・石田　尚志　898(5)

内科医のための CT・MRI
〈Editorial〉CT・MRI の有効な使い方　水野　富一　921(6)
〈CT〉
X 線 CT の原理と検査法
荒木　　力　924(6)
〈CT—頭部〉
頭部 CT 診断の進め方
鎌田　憲子　930(6)
血管性病変　前原　忠行・他　934(6)
変性疾患　吉川　宏起・他　942(6)
頭部外傷　赤土みゆき・他　948(6)
〈CT—頸部〉
頸部の CT 診断
山田　恵子・他　954(6)
〈CT—胸部〉
胸部 CT 診断の進め方
河合　　卓・他　960(6)
縦隔・心臓・大血管
成松　明子　966(6)
肺の腫瘤性病変
坪井　正博・他　972(6)
肺の浸潤性病変
森　　雅樹・他　978(6)
空洞性・嚢胞性肺病変
大坪まゆみ・他　982(6)
びまん性肺疾患
伊藤　春海・他　988(6)
〈CT—腹部〉
腹部 CT 診断の進め方
黒崎　喜久　992(6)
肝の CT　上野　恵子・他　996(6)
胆　道　澤田　　敏・他 1006(6)
膵・脾臓　三谷　　尚・他 1012(6)
腎　河野　　敦 1018(6)
副腎・後腹膜　徳永　　仰 1022(6)
消化管—閉塞性疾患の鑑別診断について　斎田　幸久・他 1028(6)
〈MRI〉
MRI の基礎　小嶋　　馨 1032(6)
MRI 撮像・読影のポイント
平松　慶博 1038(6)
MR アンギオ 大内　敏宏・他 1044(6)
〈MRI—頭部〉
頭部 MRI 診断の進め方
菅　　信一 1048(6)
血管性病変　渡部　恒也 1052(6)
炎症性病変　畑　　雄一 1056(6)
脱髄・変性・代謝性疾患
百島　祐貴・他 1060(6)
〈MRI—頸部・脊髄〉
頸部の MRI 診断
三枝　裕和・他 1064(6)
脊髄の MRI 診断
高橋元一郎・他 1070(6)
〈MRI—胸部〉
胸部 MRI 診断の進め方
似鳥　俊明・他 1076(6)
心大血管　西村　恒彦 1082(6)
肺・縦隔　田中　　宏 1088(6)
〈MRI—腹部〉
腹部 MRI 診断の進め方
湯浅　祐二 1092(6)
肝・胆道—early HCC を含む肝細胞癌を中心に 若尾　文彦・他 1098(6)
膵・脾臓　可知　謙治・他 1106(6)
腎　八代　直文 1110(6)
副腎・後腹膜 宗近　宏次・他 1116(6)

虚血性心疾患 Today
〈Editorial〉急性心筋梗塞に対する t-PA 治療をめぐって
山口　　徹 1148(7)
〈狭心症へのアプローチ〉
狭心症の発生機序 垣花　昌明 1150(7)
どのような胸痛から狭心症を疑うか
平山　治雄 1152(7)
どの心電図異常から狭心症を疑うか
高谷　純司 1155(7)
無症候性心筋虚血とは
鷹津　文麿 1158(7)
ホルター心電図による狭心症診断のポイント　岸田　　浩 1163(7)
超音波検査は何に役立つか
吉田　　清 1167(7)
核医学検査でどこまで診断できるか
小西　得司・他 1170(7)
冠動脈造影で何を診断，評価できるか
水野　杏一・他 1172(7)
〈心筋梗塞へのアプローチ〉
急性心筋梗塞の発生機序
本宮　武司 1174(7)
いつ急性心筋梗塞を疑うか
滝澤　明憲 1178(7)
急性心筋梗塞の心電図診断とその pitfall　長谷川彰彦・他 1180(7)
急性心筋梗塞の生化学的診断とその進歩　野村　雅則・他 1185(7)
急性期冠動脈造影はいつ必要か
玉井　秀男 1188(7)
心筋梗塞後患者に対してどの検査が必要か　星野　恒雄 1190(7)
陳旧性心筋梗塞をどのように診断，評価するか　門脇　　謙 1192(7)
〈狭心症の治療〉
治療法からみた狭心症の分類
田村　　勤 1196(7)
安定狭心症に対する治療法の選択
延吉　正清 1198(7)
不安定狭心症に対する治療法の選択
会沢　　治・他 1200(7)
狭心症に対する薬物治療の実際
平田　健一・他 1204(7)
狭心症に対する PTCA
藤井　謙司・他 1208(7)
冠動脈バイパス手術の適応とその進歩
一色　高明 1210(7)
危険因子の管理とその効果
松田　泰雄・他 1213(7)
狭心症患者に対する検査・手術と術

2026/10/15 05:22:19

前の評価　田中　直秀・他 1216(7)
〈心筋梗塞の治療〉
急性心筋梗塞プライマリケアのポイント　守内　郁夫・他 1220(7)
急性心筋梗塞に対するt-PAの適応と実際　石原　正治・他 1222(7)
急性心筋梗塞に対するPTCA　鈴木　紳 1226(7)
急性心筋梗塞の心不全に対する治療　加藤　修 1230(7)
高齢者急性心筋梗塞の治療と問題点　樫田　光夫 1234(7)
梗塞後狭心症の治療　鈴木　孝彦・他 1237(7)
心筋梗塞後患者の治療指針　光藤　和明・他 1240(7)
再梗塞防止のための治療と効果　出川　敏行 1246(7)
陳旧性心筋梗塞患者に対する検査，手術　上松瀬勝男 1250(7)
〈トピックス〉
心筋viability　今井　嘉門 1252(7)
hibernationとstunned myocardium　佐田　政隆・他 1254(7)
冠動脈硬化の退縮　岩瀬　孝・他 1256(7)
冠動脈内超音波検査法　平井　寛則・他 1260(7)
冠動脈ステントとアテレクトミー　木村　剛 1264(7)
〈座談会〉
狭心症の治療と問題点　齋藤　滋・林田　憲明　田村　勤・山口　徹 1267(7)

胸部X線からの肺疾患の診断と治療
〈Introduction〉胸部X線写真から何が読めるか　伊藤　春海・他 1325(8)
胸部X線像の読み方　酒井　文和・他 1328(8)
〈均質性肺病変〉
均質性肺病変　平松　慶博 1336(8)
肺炎球菌肺炎　渡辺古志郎 1339(8)
グラム陰性桿菌肺炎　亀井　俊彦 1342(8)
ブドウ球菌肺炎　市川洋一郎 1345(8)
在郷軍人病(レジオネラ症)　石原　享介・他 1348(8)
アスペルギルス症　榊原　博樹・他 1352(8)
Pulmonary infiltration with eosinophilia　山川　博生・他 1357(8)
〈気管支肺炎様病変〉
気管支肺炎様病変　水野　富一 1362(8)
インフルエンザ菌肺炎　藤野　忠彦 1366(8)
非定型肺炎　市瀬　裕一・他 1368(8)
カンジダ肺炎　森　茂久・他 1371(8)
ウイルス肺炎　小林龍一郎 1374(8)
〈空洞性病変〉
空洞性病変を呈する疾患　平野　裕志・他 1378(8)
空洞を生じる細菌感染症　松岡　緑郎 1383(8)
肺化膿症・壊死性肺炎　藤井　忠重・他 1386(8)
ノカルジア症　山本　正彦 1393(8)
肺結核症　倉島　篤行 1396(8)
〈肺の結節性病変—孤立性と多発性〉
腫瘍性病変　荒井　六郎・他 1400(8)
クリプトコッカス症　杉山幸比古 1403(8)
ウェゲナー肉芽腫症　阿部　庄作 1407(8)
リウマトイド結節　高野　慎 1410(8)
〈びまん性肺病変〉
びまん性肺病変　北市　正則 1415(8)
カリニ肺炎　味澤　篤 1419(8)
粟粒結核　赤川志のぶ 1422(8)
癌性リンパ管症　近藤　哲理 1425(8)
サルコイドーシス　四元　秀毅 1429(8)
脂肪塞栓症　高崎　雄司 1432(8)
びまん性肺出血とGoodpasture症候群　松井祐佐公・他 1435(8)
肺胞蛋白症　小林龍一郎・他 1440(8)
薬剤性肺炎　瀧藤　伸英・他 1442(8)
〈肺紋理減少状態〉
肺気腫　松本　浩平・他 1447(8)
〈肺病変を伴った胸水〉
肺塞栓と肺梗塞　飛世　克之 1451(8)
嫌気性細菌感染症　折津　愈 1454(8)
〈肺病変を伴わない胸水〉
感染症　下方　薫 1458(8)
悪性疾患に合併した胸水　北條　史彦・他 1461(8)
アスベストーシス(良性石綿胸水)　三浦溥太郎・他 1465(8)

肝硬変から肝細胞癌へ—臨床医の正しい診療のために
〈Editorial〉C型肝炎ウイルスと肝細胞癌　小林　健一 1520(9)
〈肝硬変診断の定石とPitfall〉
肝硬変症診断の基本　川崎　寛中・他 1524(9)
ベッドサイドにおける肝硬変の診断　宝角　衛 1528(9)
臨床検査からみた肝硬変診断のポイント　為田　靱彦・他 1534(9)
画像診断からみた肝硬変診断のポイント　住野　泰清 1538(9)
肝硬変患者の外来診療のポイント　福井　祥二・他 1544(9)
見逃しやすい肝硬変をどう診断するか　三宅　和彦 1548(9)
不顕性肝性脳症の診断　今井　深・他 1552(9)
肝硬変の重症度のとらえ方　柴田　実 1558(9)
〈肝硬変でみられる病態とその治療の定石〉
肝硬変患者の生活指導と薬物療法の基本　滝川　康裕・他 1564(9)
肝硬変でみられる腹水の成因と治療　辻井　正・他 1568(9)
肝硬変でみられる腎の機能異常　長瀬　光昌・他 1576(9)
肝硬変でみられる内分泌・代謝異常　関根　信夫 1580(9)
肝硬変でみられる呼吸・循環系の異常　桑平　一郎 1584(9)
肝硬変でみられる血液異常　金山　正明 1587(9)
肝硬変と感染症　北原　光夫 1590(9)
肝硬変でみられる消化管出血とその治療　板倉　勝 1592(9)
肝性脳症の予防と治療　与芝　真 1596(9)
肝硬変でみられる栄養障害　渡辺　明治 1600(9)
肝硬変患者における一般薬物治療の留意点　松嶋　喬 1604(9)
肝硬変患者の手術リスクの評価　大浦　慎祐・他 1607(9)
〈肝細胞癌の発生と早期診断〉
肝細胞癌の疫学と危険因子のとらえ方　服部　信・他 1612(9)
肝細胞癌の臨床像と自然経過　鵜沼　直雄 1616(9)
肝細胞癌と紛らわしい肝病変の鑑別診断　斎藤　真理・他 1619(9)
肝細胞癌の腫瘍マーカーとその使い方　遠藤　康夫 1622(9)
肝細胞癌の早期発見と画像診断　江原　正明・他 1626(9)
肝細胞癌の確定診断と治療方針決定のための画像診断　磯部　義憲・他 1630(9)
肝細胞癌の早期診断のためのStrategies　杉浦　信之・他 1640(9)
〈肝細胞癌の治療はどこまで可能か〉
肝細胞癌に対する経皮的エタノール注入療法　三木　亮・他 1646(9)
肝細胞癌に対する肝動脈塞栓療法　池田　健次・他 1650(9)
肝細胞癌の化学療法　岡田　周市・他 1653(9)
肝細胞癌の免疫療法(CTL療法)　藤本　重義 1656(9)
肝切除による肝細胞癌の治療　都築　俊治 1660(9)
肝細胞癌と肝移植　松波　英寿・他 1663(9)
肝細胞癌の合併症とその緊急治療　六倉　俊哉 1670(9)
肝細胞癌治療への新しいアプローチ　多羅尾和郎 1674(9)
肝細胞癌治療のStrategies　谷川　久一 1678(9)
〈座談会〉

2026/10/15 05:22:19

肝硬変と肝癌—私はこう診断し，治療する
小林　健一・柴田　実
田中　豊・上野　文昭 1682(9)

心電図の読み方から不整脈診療へ
〈Editorial〉
心電図診断と不整脈診療
glossary　杉　薫 1718(10)
〈標準12誘導心電図：読み方の基本〉
心電図の読み過ぎ，読み落としを防ぐために　池田　孝之 1722(10)
心電図自動診断の問題点
加藤　貴雄 1724(10)
P波異常から何を考えるか
椙　英夫・他 1730(10)
心室内伝導障害の臨床的意義
松原　哲 1734(10)
心室肥大と診断される心電図変化
安部　良治 1740(10)
非虚血性ST-T変化の鑑別
板岡　慶憲・他 1744(10)
狭心症を疑う心電図
柴田仁太郎・他 1749(10)
非定型的心筋虚血の診断—特にSyndrome Xについて
奥村　謙 1754(10)
急性期心筋梗塞の心電図変化
雨宮　浩 1758(10)
QT延長をみたときに何を注意するか
満岡　孝雄 1762(10)
U波にあらわれる心電図異常
川野　誠子 1768(10)
電解質異常を考える心電図
松本　万夫 1772(10)
〈不整脈診断の実際〉
内科医に必要な不整脈の発生メカニズム　碓井　雅博・他 1778(10)
理学的所見・症状から疑う不整脈診断
東　祐圭 1782(10)
不整脈心電図診断の導きかた
三上　雅人・他 1788(10)
心房性不整脈の鑑別診断
瀬川　和彦 1793(10)
期外収縮診断のポイント
加藤　林也 1798(10)
上室性頻拍の鑑別診断
藤木　明 1803(10)
QRS幅の広い頻拍の鑑別診断
伊東　敏弘・他 1807(10)
心筋虚血により生じる不整脈
宮崎　利久 1812(10)
徐脈性不整脈の診断のポイント
八木　洋・他 1815(10)
眩暈・失神の鑑別の仕方
傅　隆泰 1820(10)
ペースメーカー心電図の異常発見のポイント　臼井　孝 1824(10)
危険な不整脈—Life-threatening arrhythmias
青沼　和隆・他 1828(10)
〈不整脈検査の適応〉
どのような時にホルター心電図を記録するか　田辺　晃久 1833(10)
ホルター心電図検査の有用性と注意点
加世田俊一・他 1841(10)
判断に迷うホルター心電図所見
西崎　光弘・他 1845(10)
ホルター心電図による薬効評価
芹田　巧・他 1848(10)
不整脈症例の運動負荷心電図
池田こずえ 1852(10)
運動負荷心電図による薬効評価
小林　洋一 1857(10)
〈不整脈治療の基本〉
不整脈症例，入院治療か外来診療かの判断　三田村秀雄 1863(10)
不整脈症例を専門医へ紹介するタイミング　小松　親義 1866(10)
緊急度の高い不整脈への対処
大平　洋司・他 1868(10)
抗不整脈薬の種類と投与法
相沢　義房 1873(10)
抗不整脈薬の催不整脈作用・副作用
渡辺　一郎 1878(10)
どこまで期外収縮を治療するか—治療の適応　桜田　春水 1882(10)
期外収縮治療の薬物選択の基準
新　博次 1886(10)
心房細動への対処の仕方
井上　大介 1889(10)
上室性頻拍の治療
内藤　政人・他 1892(10)
心室頻拍の治療
大西　哲・他 1896(10)
経過観察可能な徐脈性不整脈
井川　修・他 1900(10)
徐脈性不整脈の段階的治療
久賀　圭祐・他 1905(10)
ペースメーカー患者の禁忌と可能な処置　村上　新・他 1910(10)
〈トピックス〉
カテーテルアブレーション
笠貫　宏・他 1914(10)
植え込み型除細動器(ICD)の臨床成績
田中　茂夫 1918(10)
アミオダロン　山口　巌 1921(10)
Late potential
徳田　宇弘・他 1924(10)

臨床医のためのわかりやすい免疫学
今月号で使われている主な略語とグロッサリー　1954
〈Introduction〉免疫学の理解のために
石　和久・他 1958(12)
〈リンパ球と食細胞〉
食細胞とリンパ球の免疫への関わり
中野　昌康 1964(12)
〈Bリンパ球の役割〉
Bリンパ球の免疫における役目
中原　一彦 1972(12)
免疫抗体の遺伝子工学
石川　博通 1976(12)
免疫抗体の構造と働き
松浦　靖・他 1982(12)
〈Tリンパ球の役割〉
Tリンパ球の分化と機能
森尾　友宏 1986(12)
抗原提示とmajor histocompatibility
八木　淳二 1992(12)
サイトカインの働き
中島　泉 1966(12)
〈食細胞とその他の免疫細胞〉
好中球の働き　浦部　晶夫 2000(12)
好酸球の免疫への関わり
中島　宏和・他 2004(12)
肥満細胞とケミカルメディエーター
茆原　順一・他 2008(12)
マクロファージ
下条　直樹・他 2012(12)
ナチュラル・キラー細胞
関　秀俊 2016(12)
〈免疫反応の調節と制御〉
調節・制御機構の必要性
中村　玲子 2020(12)
補体の活性化とそのコントロール
稲井　眞弥 2024(12)
イディオタイプ-抗イディオタイプ
山元　弘 2028(12)
T細胞による制御
中村　和史・他 2030(12)
〈免疫疾患へのアプローチ〉
免疫的検査法とその利用
夏目　洋幹・他 2034(12)
リンパ球機能のアセスメント
岡田　純・他 2040(12)
自己免疫疾患とmajor histocompatibility complex
玉井　誠一・他 2042(12)
どのような症例に自己免疫疾患を考慮するか　赤間　高雄 2046(12)
〈免疫疾患の臨床〉
アレルギー性鼻炎　鵜飼幸太郎 2050(12)
気管支喘息　鏡味　勝・他 2054(12)
甲状腺疾患　市川　陽一・他 2058(12)
原発性胆汁性肝硬変
堺　隆弘 2062(12)
糸球体腎炎とサイトカイン
宇都宮保典 2068(12)
溶血性貧血と血小板減少症
八木田正人 2072(12)
重症筋無力症　高木　昭夫 2076(12)
〈臓器移植へのイントロダクション〉
臓器移植と組織タイプ
小林　賢 2080(12)
骨髄移植　秋山　秀樹 2086(12)
腎移植　畠　亮 2088(12)
心臓移植　鈴木　暁・他 2092(12)
免疫抑制の意義と必要性
辻　公美・他 2096(12)

2026/10/15 05:22:19

免疫抑制剤―作用と使用方法の評価
東條　毅・他 2100(12)
〈免疫不全と感染症〉
比較的よくみられる免疫異常と感染症
岡本真一郎 2104(12)
薬剤による免疫不全と感染症
雨宮　洋一 2108(12)
HIV と免疫と感染症
山本　伸二・他 2112(12)
〈癌と免疫〉
癌と免疫　茂木　良弘・他 2116(12)

神経症候―リアルタイムの診療
〈神経内科コンサルテーション〉
神経学的診察と検査の進め方
栗原　照幸 2158(13)
〈臨床医がよく直面する神経症候とその対応〉
頭痛　坂井　文彦 2180(13)
めまい　清水　夏繪 2184(13)
意識障害　坂井　克之・他 2188(13)
痴　呆　三山　吉夫 2194(13)
運動麻痺　荒崎　圭介 2200(13)
言語障害　綿森　淑子 2204(13)
けいれん　寺尾　章・他 2208(13)
不随意運動　水野　美邦 2212(13)
失　調　田代　邦雄 2216(13)
排尿・排便障害 服部孝道・他 2222(13)
〈小児の神経症候とその対応〉
小児神経疾患の救急
林　北見・他 2228(13)
〈神経疾患と検査法〉
髄液検査と疾患の鑑別
綾部　光芳・他 2238(13)
筋電図　作田　学 2242(13)
脳　波　池田　昭夫・他 2246(13)
誘発電位　寺尾　章・他 2252(13)
神経疾患と画像診断の進め方
岩崎　泰雄 2256(13)
〈治療とリハビリテーション〉
神経疾患の治療薬 栗原　照幸 2268(13)
神経疾患の基本的リハビリテーション
櫻井とし子 2278(13)

〔Current Topics〕
慢性疲労症候群(CFS)の臨床像
橋本　信也 1940(10)

〔カラーグラフ〕
Oncology Round
21．乳糜胸腹水を伴った Krukenberg 腫瘍　菅　三知雄・他 333(2)
22．化学療法・免疫療法併用で寛解した癌性腹膜炎
武越　裕・他 475(3)
23．骨肉腫の1例
千代倉吉宏・他 1480(8)
24．クリーゼをきたした副甲状腺癌
菅　三知雄・他 2312(13)

電子内視鏡による大腸疾患の診断
1．電子内視鏡が拓く大腸
長廻　紘 185(1)
2．クローン病(1)
樋渡　信夫 321(2)
3．クローン病(2)
樋渡　信夫 471(3)
4．潰瘍性大腸炎多田　正大 729(4)
5．粘膜脱症候群多田　正大 909(5)
6．腸結核　多田　正大 1279(7)
7．薬剤性大腸炎
多田　正大・他 1697(9)
8．感染性腸炎　林　繁和 1929(10)
9．虚血性大腸炎と抗生物質起因性出血性大腸炎勝又　伴栄 2123(12)
10．アメーバ赤痢，性感染症
林　繁和 2297(13)

〔グラフ〕
内科医のための胸部 X-P 読影のポイント
10．サルコイドーシス―BHL 症例
田中　茂・他 486(3)
11．サルコイドーシス―肺野病変を呈する症例
田中　茂・他 1296(7)
12．BOOP/PIE
松井祐佐公・他 1486(8)
13．びまん性汎細気管支炎(DPB)・気管支拡張症
西村　浩一・他 1704(9)
14．肺梗塞　池田　賢次・他 2138(12)

〔演習〕
目でみるトレーニング
問題1　関口　利和 326(2)
問題2　成井　浩司 327(2)
問題3　岩本　俊彦 328(2)
問題4　西村　忠史・他 329(2)
問題1　岩本　俊彦 480(3)
問題2　関口　利和 481(3)
問題3　林　裕人・他 482(3)
問題4　於久　幸治・他 483(3)
問題1　三宅　侃・他 1134(6)
問題2　林　裕人・他 1135(6)
問題3　関口　利和 1136(6)
問題4　於久　幸治・他 1137(6)
問題1　磯本正二郎・他 1290(7)
問題2　林　裕人・他 1291(7)
問題3　三宅　侃 1292(7)
問題4　中野　博行 1293(7)
問題1　三宅　侃 1502(8)
問題2　中野　博行 1503(8)
問題3　中島　明雄 1504(8)
問題4　小林　明・他 1505(8)
問題1　小林　明・他 2320(13)
問題2　中野　博行 2321(13)
問題3　桜井　幸弘 2322(13)
問題4　中島　明雄 2323(13)

心エコー図演習
竹中　克 189(1)
田内　潤・他 337(2)
水重　克文・他 493(3)
田内　潤・他 721(4)
西上　和宏・他 1129(6)
竹内　克 1285(7)
水重　克文・他 1493(8)
清水　智明・他 1935(10)
田中　伸明・他 2291(13)

〔講座〕
図解病態のしくみ　肝臓病
1．肝臓の形態と機能
渡辺　明治 344(2)
2．肝疾患の検査法
清水　幸裕・他 500(3)
3．肝疾患の画像診断
青山　圭一・他 1120(6)
4．肝疾患の病態
斎藤　清二・他 1470(8)
5．急性ウイルス肝炎
斎藤　清二・他 2129(12)
6．劇症肝炎・亜急性肝炎
樋口　清博・他 2302(13)

心療内科コンサルテーション 182(1)
1．現在の心身医学はどのような考え方なのか？　美根　和典 182(1)
2．内科領域で心理テストをどう用いるか　小宮山博朗 360(2)
3．不定愁訴患者にどう対応するか
岡　孝和 518(3)
4．慢性の痛みをどのように治療するか
村岡　衛 1313(7)
5．原因不明の痛みをどのように考えるか　小宮山博朗 1498(8)
6．心身症に対する漢方療法
岡　孝和 2144(12)
7．一般内科臨床における心理療法とは　村岡　衛 2328(13)

臨床医のための分子生物学/長野　敬
1．医学の「分子化」 353(2)
2．「メンデルの豆」の分子生物学 512(3)
3．「人間の起源」の分子生物学 1308(7)

総合診療 minimum requirement/伊藤　澄信
1．高血圧の治療(1) 364(2)
2．高血圧の治療(2) 522(3)
3．高血圧の治療(3) 1305(7)
4．糖尿病の治療(1) 1508(8)
5．糖尿病の治療(2) 2334(13)

呼吸器疾患診療メモ
慢性呼吸不全―人工換気中の栄養管理　宮城征四郎 179(1)
医師の禁煙活動 伊礼壬紀夫 527(3)

2026/10/15 05:22:19